

ギャラリー・オフグリッド自主企画展第16弾

乾久子 Inui Hisako

## ことばのまわり ～10年目を歩く～



【会期】2021年10月12日(火)～12月20日(月)10:00～17:00

【休廊】毎週土曜日・日曜日・祝日

※11月6日(土)、12月19日(日)は開廊

※都合により休廊となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

【観覧料】無料

【会場】ギャラリー・オフグリッド 福島市荒町4-7県庁南再エネビル3F

\* お車をご利用の方は近隣の駐車場をご利用ください。

【主催】飯舘電力株式会社

【お問い合わせ】飯舘電力株式会社 TEL:024-572-6006 E-mail:[info@iipower.jp](mailto:info@iipower.jp)

## 【展示概要】

2011年3月11日に起きた東日本大震災後、乾久子はこれまでの表現とは異なる3月12日からの新聞一面を塗りつぶすドローイングを毎日制作した。それから10年目の2021年3月11日を迎えるにあたって乾が選んだのは、10年前を作品で振り返るだけでなく、今の福島を歩いてみることにした。本展は、2021年3月11日から始まった乾の福島での旅を基軸に構成する。電車、バスなどの公共交通機関による目的地を持たない旅は、乾にたくさんの出会いをもたらした。思いがけない風景、すれ違った人がふと漏らした言葉。スケッチブックとペンを手にした作家の旅は、それらを自分のなかに受け止め作品として産み直す行為だった。作品を通して浮かび上がる、乾が感じた10年目の福島。そこに重なったコロナの影も感じる作家の心の軌跡は、どのように感じられるだろうか。

## 乾久子 (Inui Hisako)

美術家 1958年 静岡県生まれ 東京学芸大大学院修士課程修了

イメージからイメージへと広げていくドローイングを制作の基本とする。

国内外での個展グループ展多数。2008年にくじびきドローイングワークショップを発案。言葉と絵のリレーで、美術と社会をやわらかくつないでいる。

公式ホームページ

「乾久子の仕事」<http://hisakoinui.com>

「くじびきドローイングのすべて」<http://kujidoro.net>

10年前の2011年、大震災が起こった後、私は自分の表現について途方に暮れ、何をすればいいのかわからなくなっていました。それなのに個展が近づいていました。結局私は3月12日からの新聞の一面を毎日塗りつぶすドローイングをしてその一ヶ月分を発表しました。10年経ち、新聞を塗りつぶしたあのドローイングにどんな意味があったのか、福島の地で確かめたい思いが芽生え、10年前と同様の形で再展示できたらと思いました。その計画をふくらめていく中で、私は、この10年の間に会った福島の方たちにアドバイスをいただきました。10年前を作品で振り返るだけでなく、今の福島を歩いてみたらどうですかと。かくして私は2021年3月11日を皮切りに、浜松から福島への旅を始めました。「女寅さん、10年目を歩く」の旅です。常磐線、東北本線、磐越西線、磐越東線、只見線、会津鉄道、列車に乗り、路線バスに乗りタクシーに乗りでの移動。スケッチブックとカメラを携えて、見たり、聞いたり、話したり、食べたり、しました。

この展覧会ではその旅の記録とドローイング、10年前の新聞作品、そして10年目の今年に浜松のアトリエで制作した作品を展示します。10年間と10年目、ふたつのことを旅が教えてくれたのかもしれませんが。おりしものコロナ禍。先の見えない不安や閉塞が日本中を覆っている中での旅でした。そのないまぜの10年目であったことも歩く私には大きなことでした。

乾久子

**10月12日(火)オープニング時に作家が在廊しております。**

**ぜひ取材をよろしくお願い致します。**

（作家の取材希望日以外もご希望にお応じます。お問い合わせ下さい）